

#### IV 良質な個別サービスの実施(保育所)

| 【 評価項目 】   |   | a   | b | c | Na |   |
|--|---|---|---|---|----|---|
| A-1 保育所保育の基本   |   |   |   |   |    |   |
| (1) 養護と教育の一体的展開  |   |   |   |   |    |   |
| 1  | 1 | 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達課程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。 | ○ |   |    |   |
| 2  | 2 | 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。                          | ○ |   |    |   |
| 3  | 3 | 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。    | ○ |   |    |   |
| 4  | 4 | 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。    |   |   |    | ○ |
| 5  | 5 | 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。            |   |   |    | ○ |
| <p>(特に評価が高い点)<br/>月齢による個人差に対して、安全を配慮しながら子ども一人ひとりを大切にする姿勢がゆったりとした保育活動とともに、子どもへの言葉がけから感じられました。研修により、個々に配慮した保育が行われていることに高く評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)<br/>特になし</p> |   |   |   |   |    |   |

|   |   |  |   |  |  |  |
|---|---|--|---|--|--|--|
| (2) 環境を通して行う保育  |   |  |   |  |  |  |
| 6   | 1 | 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。      | ○ |  |  |  |
| 7   | 2 | 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。         | ○ |  |  |  |
| 8   | 3 | 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。 | ○ |  |  |  |
| 9   | 4 | 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。              | ○ |  |  |  |
| 10  | 5 | 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。 | ○ |  |  |  |
| <p>(特に評価が高い点)<br/>設備の管理や清掃は十分に行われ、消毒は1日3回、全クラスで実施されています。園庭が狭いため、1日1回は必ずお散歩という工夫がされ、それが子ども達に季節を感じさせるとともに、お散歩に行くと近所の人と顔見知りになり、とうもろこしの収穫をさせてもらう等地域の人々の自然な交流につながっています。</p> <p>(改善が求められる点)<br/>園舎の構造上保育活動の広がりが難しいですが、さらに地域の社会資源を活用して保育活動に取り組むことも考慮をお願いします。</p> |   |  |   |  |  |  |

| 【 評価項目 】   |   |                                  |  | a | b | c | Na |
|--|---|----------------------------------|--|---|---|---|----|
| <b>(3) 職員の資質向上</b>   |   |                                  |  |   |   |   |    |
| 11   | 1 | 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。 |  |   | ○ |   |    |
| <p>(特に評価が高い点)<br/>チェックリストの活用で、職員が自ら保育実践を振り返ることができます。園長や保育リーダーに相談できる環境ができています。また、研修に参加することで、保育の改善の努力や、保育者間の話し合いも十分行われています。</p> <p>(改善が求められる点)<br/>チェックリスト等により振り返り、自分で気づくところまではできています。今後、職員主体のPDCAサイクルを機能させ、評価や課題を明確にし、改善に至るまでのシステムづくりをお願いします。</p> |   |                                  |  |   |   |   |    |

| <b>A-2 子どもの生活と発達</b>   |   |   |  |   |   |  |   |
|--|---|---|--|---|---|--|---|
| <b>(1) 生活と発達の連続性</b>   |   |   |  |   |   |  |   |
| 12   | 1 | 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。            |  | ○ |   |  |   |
| 13   | 2 | 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 |  |   |   |  | ○ |
| 14   | 3 | 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。        |  |   | ○ |  |   |
| <p>(特に評価が高い点)<br/>保育者の表情や笑顔に余裕があり、子ども一人ひとりを大事にする姿勢が感じられ、ゆったりとした保育活動が行われています。子どもへの言葉かけや援助の仕方についての研修が行われ、一人ひとりに配慮した保育活動のため、常に保育者がお互いに申し合わせて対応している姿勢は高く評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)<br/>長時間保育の場合における軽食の献立内容を、保護者に知らせる工夫をお願いします。</p> |   |   |  |   |   |  |   |

| <b>(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場</b>  |   |  |  |   |  |  |  |
|---|---|--|--|---|--|--|--|
| 15  | 1 | 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。         |  | ○ |  |  |  |
| 16  | 2 | 食事を楽しむことができる工夫をしている。                       |  | ○ |  |  |  |
| 17  | 3 | 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。    |  | ○ |  |  |  |
| 18  | 4 | 健康診断・歯科診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。 |  | ○ |  |  |  |
| <p>(特に評価が高い点)<br/>クッキーの型抜きをしたり、ポップコーンの弾ける様子を実際に見たり等、子どもの年齢に応じた工夫や、季節感を考慮した献立を作成され、食に関心がもてるような保育を実施されています。前日までの子どもの喫食状況は、保護者から聞き対応されています。また栄養士や調理員が子どもと一緒に食べ、子ども達の話聞く機会があり、子どもの喫食状況がよく把握されています。さらに、併設の病児保育施設の利用も可能であり、NSの助言を得られる連携は高く評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)<br/>特になし</p> |   |  |  |   |  |  |  |

| 【 評価項目 】   |   | a   | b | c | Na |
|--|---|---|---|---|----|
| <b>(3) 健康及び安全の実施体制</b>   |   |   |   |   |    |
| 19   | 1 | アレルギー疾患、慢性疾患をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。      | ○ |   |    |
| 20   | 2 | 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。 | ○ |   |    |
| <p>(特に評価が高い点)<br/>アレルギー疾患への対応は入園時から、主治医からの情報を得て保護者・多職種間で連携しながら対応するシステムが確立しています。例えば、アレルギー用のお盆に名前(○○組の○○さん)を書いて食事の提供を行う細やかな配慮が高く評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)<br/>衛生管理マニュアルをもとに、施設規模や保育現場に合致した取組がされていますが、調理員・栄養士だけでなく他の職種の職員への周知も標準化される検討をお願いします。</p> |   |   |   |   |    |

| A-3 保護者に対する支援   |   |  |   |  |  |
|---|---|--|---|--|--|
| <b>(1) 家庭と緊密な連携</b>   |   |  |   |  |  |
| 21  | 1 | 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。                                  | ○ |  |  |
| 22  | 2 | 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。                                | ○ |  |  |
| 23  | 3 | 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。    | ○ |  |  |
| 24  | 4 | 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。 | ○ |  |  |
| <p>(特に評価が高い点)<br/>毎日の送迎時の保護者対応・連絡帳への記載等により、健康や生活について相互に情報交換しながら、日常的な保護者対応を大変きめ細やかに保護者の立場に立って実施されています。保育者の保護者対応の姿勢は保護者満足度にもつながっています。毎月の園だよりによる広報活動や懇談会の開催等も保護者との関係を深めることに大きく評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)<br/>給食試食会を今年度から実施されたということですが、とても良い取組です。保育所の食事内容や保育所で配慮している事等を保護者に伝えるとともに、直接保護者の意見を聴く機会を設ける等、食生活に関する家庭とのさらなる連携について積極的な今後の取組の工夫をお願いします。虐待防止マニュアルは整理されていますが、内容が一般的で、本保育所の現実に合う防止策や、注意点・対応策・責任者等を具体的に整理・見直しはいかがでしょうか。</p> |   |  |   |  |  |